

「ささしま高架下オフィス」完成

ささしまライブ24入口の新幹線高架下にSDGsに配慮した木造オフィスが竣工



名古屋ステーション開発株式会社（本社：名古屋市中村区 代表取締役社長 河野俊輔）は、ささしまエリア開発の一環として、株式会社スタメン（本社：名古屋市中村区 代表取締役社長 加藤厚史）が入居するオフィスを東海道新幹線高架下にかねてより建設してまいりましたが、3月上旬の完成に伴い同社が正式に移転となりますので、お知らせいたします。

ささしま高架下オフィスの詳細について

<オフィスの完成予定日>

2022年3月1日(火)

<オフィスの供用開始予定日>

2022年3月7日(月)

<当該施設の特徴>

鉄道高架下に建設するため、鉄道構造物への影響を考慮した軽量化が求められる一方、オフィスという大空間の確保も必要であることから、新たな開発手法として、高機能繊維と木材のハイブリット新素材

（別紙2）を採用し、柱のない広いオープンスペースを確保し、開放的で機能的なオフィス空間を創出しました。主要構造材に愛知県東三河産の木材を使用し、愛知県が主管する「木の香る都市づくり事業」の採択を受け、SDGsにも配慮しております。

<当該施設の概要>

所在地 : 名古屋市中村区下広井町1丁目 他
用途 : 事務所(約100名)、セミナースペース等
構造 : 木造2階建て、延べ床面積985㎡ (1階:471㎡、2階:514㎡)
設計 : 有限会社マル・アーキテクチャ
施工 : シーエヌ建設株式会社
その他 : 主要梁部分に帝人株式会社が開発したハイブリッド素材を活用
(高機能繊維と木材のハイブリッド素材)

<オフィスの内外装イメージ>

外装: リリース表紙写真を参照 内装: 別紙1を参照

<その他>

オフィスの供用開始に先立ち、報道関係者向けの内覧会を下記の通り実施します。

日時 : 2022年3月1日(火) 15:00~17:00

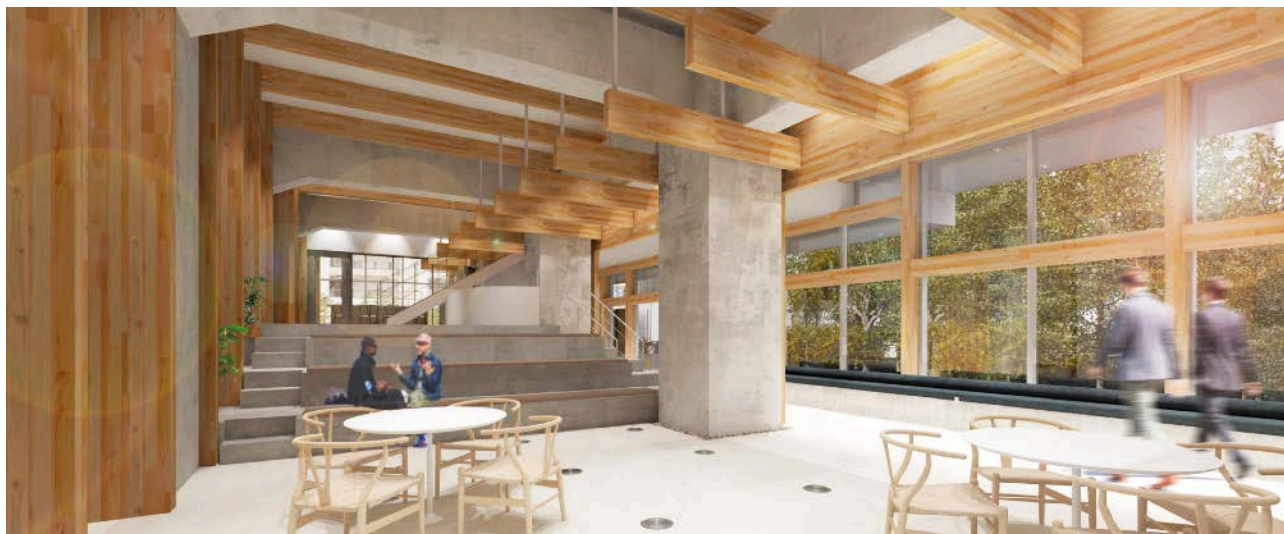
内覧ご希望の場合は、2月28日(月)までに下記担当までご連絡願います。

【お問い合わせ先】

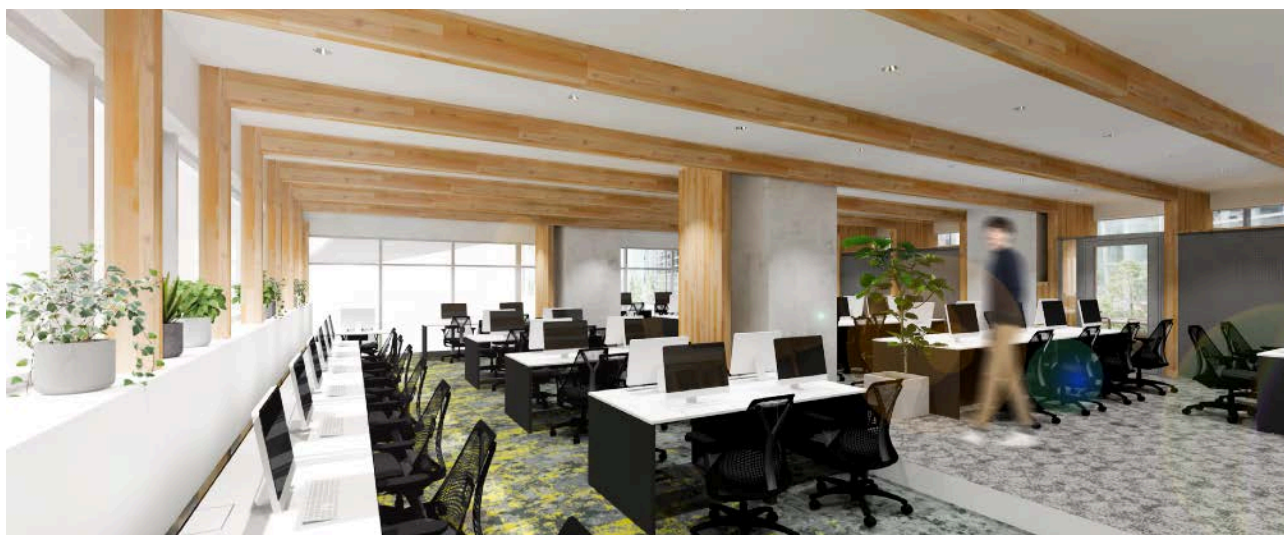
名古屋ステーション開発株式会社 渡辺
TEL: 052-856-3457 MAIL: watanabe.m@nsk-eki.com

別紙 1

【内装イメージ 1】



【内装イメージ 2】



【オフィス予定地】





LIVELY WOOD®
ELEVATING NATURE, ENHANCING LIFE

高機能繊維強化集成材

LIVELY WOODは、炭素繊維^{*1}を木材の間に挟むことで、高い強度を実現した複合材料です。木材が持つ軽量性、断熱性といった長所を維持したまま、剛性・耐久性を格段に向上できます。

※1 炭素繊維：剛性が高く、熱膨張率が低いため寸法安定性に優れる。強さは鉄の約10倍、軽さは約1/4。



特長

1

木のぬくもりはそのまま

独自の加工技術により木材の中に高機能繊維を挟んでいるため、外観は木材のまま。梁などに使用しても意匠性を損ないません。

特長

2

スマートな梁で広がるデザイン

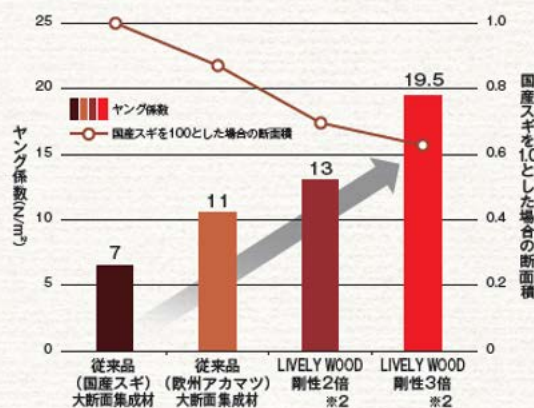
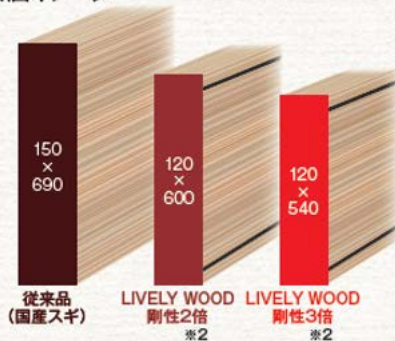
従来の木材に比べてたわみが少なく、高い強度を保ったまま断面積(梁せい)を小さくできるため、ロングスパンでの使用も可能です。従来の木造建築では実現できなかった開放的な空間が設計できます。

【LIVELY WOODの力学ケーススタディー】^{*1}

仮定条件

固定荷重 (N/m ²)	1400	
積載荷重 (N/m ²)	大梁用荷重	1800
	地震力	800
用途	事務所	

梁断面イメージ



※1 上表の断面積やヤング係数は炭素繊維を用いたシミュレーションによる値であり、性能を保証するものではありません。またサイズは一例であり、ご要望に合わせて設計可能です。

※2 剛性は従来品(国産スギ)断面 150×690との対比です。LIVELY WOOD剛性2倍、剛性3倍でのヤング係数の違いは、繊維総量の違いによるものです。

特長

3

優れた耐久性

高機能繊維は、鉄などの金属補強材に比べると格段に軽量で、環境変化による膨張や収縮も少ないため、木材との親和性が高く、また、錆も発生しないため耐久性に優れています。

特長

4

独自開発の高機能繊維

弊社が長年培ってきたノウハウを元に、特長の異なる繊維を複合化し、建築物に向けた素材を開発しています。